



# Frontier Spirit!

第2号  
H28.6.15  
文責: 仲山

J Hinata

## 進路指導部・各種行事より



### 3学年大学出張講義より

6月3日に、3学年対象に県内外の大学の先生方より大学出張講義をしていただきました。3年生にとっては、1年・2年とすでに2回受講してきましたので、これが3回目となります。「人文科学」「教育」「社会科学」「理学」「工学」「薬学」「看護学」「医学」の8分野に分かれて講義を受けました。「理学」は素粒子に関する講義で、ニュートリノという粒子により太陽の中を観測することができるという講義を受けました。「医学」では講義で実際の豚の心臓を題材に外科手術の様子を体験することができました。他にも様々な大学の専門的な講義を受けられ、「大学の講義の様子がわかり大変おもしろかった」「将来のことを考えることができた」「夢を感じた」などの感想が多かったようです。これから先どのような進路を考えていくかの参考にしてもらえればよいと思います。また、同様の講座を2年生は9月、1年生は12月に予定しています。



#### 6月以降の主な行事

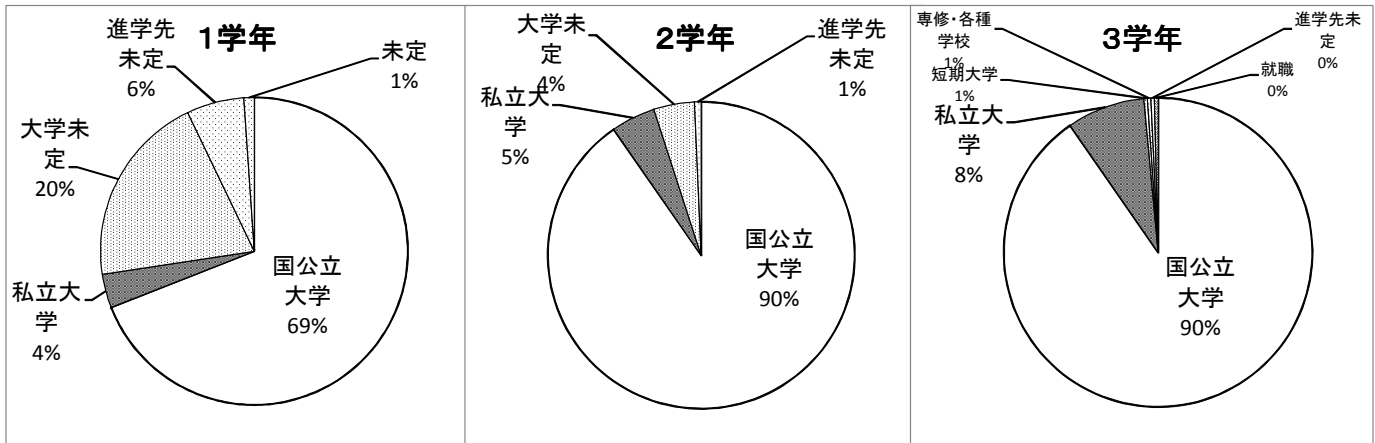
- 3日(金)  
3学年 大学出張講義  
2学年 薬物乱用防止教室  
1学年 進路講演会
- 10日(金)  
1学年 ネットモラル教室
- 17日(金)  
40分授業緑陽祭準備
- 18日(土)～20日(月)  
第52回緑陽祭
- 21日(火)・22日(水)  
代休
- 7月  
1日(金) 3学年  
進路講演会  
4～8日(6日は代休)  
第2回定期試験  
9・10日 進研模試  
16日(土)  
3学年保護者懇談会  
22日(金) 終業式  
22日(金)・23日(土)  
3学年全統マーク模試

### 進路講演会より

ちょっと前になりますが、4月29日(金)には、PTAの総会・学年総会に続き、進路講演会が行われ、多くの保護者の方の出席をいただきました。大変ありがとうございました。進路講演会では朝日新聞社甲府総局長の河原理子氏に「生きる意味を求めて・フランクから学んだこと」をテーマにお話しいただきました。ヴィクトール・フランクが強制収容所での体験を書き記した「夜と霧」を読んで、河原さん自身が感じたことを基に、まさに「生きることを意味を求めて」講演をしていただきました。深い話であり、また勇気づけられる話であり、保護者の方からも「保護者だけでなく、子供たちに聞かせたい話であった」という感想を多くいただきました。なお、河原さんの著書「フランク『夜と霧』への旅」もフランク著「夜と霧」も学校の図書館にあります。ぜひとも読んでみて下さい。



## 進路希望調査より



今年度4月～5月にかけて、各学年の進路希望調査を行いました。グラフの通り国公立大学の志望者が2・3年生では90%を占めています。1年生はまだあまり具体的に考えていないという生徒が多少いるのかなと思います。ここ数年の状況を見ても、今年度と同様な進路希望状況であり、本校の生徒は大部分の生徒が国公立大学を第一志望にしているのだと確認できます。しかし、最終的には50%強の生徒しか国公立大学には進学していない状況を見ると、受験は甘くはないということをつくづく感じます。



### 他にも進路講演会(生徒対象)・主権者教育

こちらは生徒向けではありますが、1年生の生徒を対象に進路講演会が6月3日に行われました。高校に入学してスタディサポートという始めて全国レベルのテストを受け、その結果を基に、これからの高校生活でどのようなことに留意して学習を進めていったらよいか、ベネッセホールディングの神前(こうざき)氏から講演してもらいました。

また、選挙権年齢が18歳以上となったことを受け、主権者教育として、山梨学院大学 法学部 准教授の鈴木敦先生に来ていただき、講演してもらいました。大変分かりやすい話で、生徒も政治の歴史やしぐみなど興味を持って聞いていました。

#### 主権者教育

(2・3年生 5月13日  
1年生 5月20日)



1学年進路講演会より  
(6月3日)

### 緑陽祭が終わってからは・・・

今は、各クラス・クラブともに緑陽祭に向けて準備真っ盛りという感じです。多くの生徒が休日にも登校して、準備にかかっている姿が見られます。また、運動部では、3年生にとっては最後の大会になる人も多いインターハイ予選がこの6月にあり、まさにこの一ヶ月は、行事盛り沢山という感じですが、この緑陽祭が終わると、いよいよ3年生は受験に向けて一気に走り出す時期となりますし、1, 2年生も第2回定期試験まで2週間を切るという状況です。緑陽祭が終わったらしっかり切り換えて学習に向かって欲しいと思います。緑陽祭が終わるとセンター試験(来年1月14・15日)までは、207日となります。

また、ほとんどの国公立大学は年明けの1月のセンター試験と2月・3月の個別試験で合否が決まりますが、ごく一部の国公立大学のAO入試など8月から出願受付が始まる場所もあります。これは9月～10月にかけて試験が行われるなど、ごく一部とはいえ、もう入試はそこまで来ていると言えます。例年多くの受験生が満足のいくような準備ができないうちに受験を迎えています。そうならないように与えられた時間をうまく使って準備を進めて欲しいと思います。

